

# 第5節 生 活

## 第1 指導計画の作成

### 1 指導計画作成の基本的な考え方

#### (1) 教科目標の趣旨を踏まえた指導計画の作成（解P 8）

生活科の目標は、以下のように示されている。

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

これらが偏りなく実現されるよう、単元など内容や時間のまとまりを見通した指導計画を作成することが重要である。

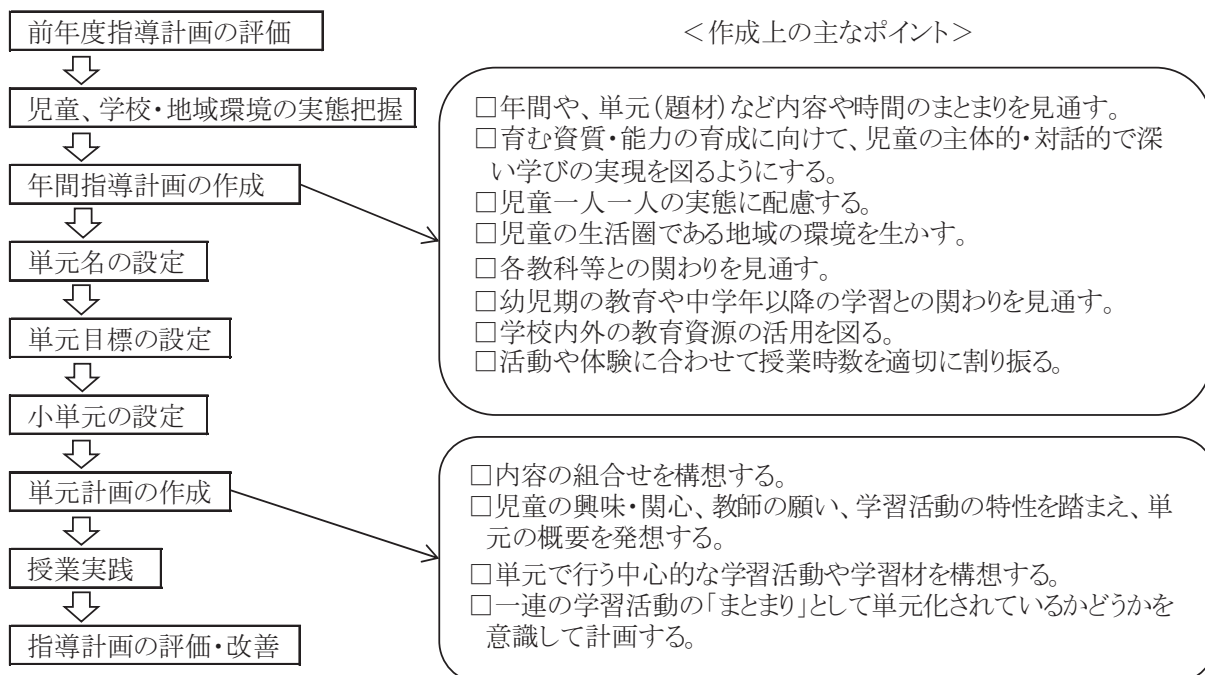
#### (2) カリキュラム・マネジメントを意識した指導計画の作成（解P 70）

- ・ 児童の実態や地域の特性などを考慮し、学校で構成した単元や学習活動を適切に配置する。
- ・ 年間指導計画は2学年間を見通し、各単元計画と相互に関連させながら作成する。
- ・ 幼児期の教育との接続を意識し、学校全体で取り組むスタートカリキュラムを導入する。
- ・ 生活科の学びを、中学年以降の学習にどのようにつなげていくのかを見通す。

#### (3) 学習指導の特質を生かした指導計画の作成（解P 71）

- ・ 児童の思いや願いを育み、意欲や主体性を高める学習活動にする。
- ・ 児童の身近な生活圏を活動や体験の場や対象にし、人や社会、自然と身体を通して直接関わりながら、自らの興味・関心を発揮して具体的な活動や体験を行うことを重視する。
- ・ 活動や体験の中で感じたり考えたりしている児童の姿に働きかけ、活動の充実につなげる。
- ・ 表現したり行為したりすることを通して、働きかける対象についての気付きとともに、自分自身についての気付きをもつことができるようにする。

### 2 指導計画作成の一般的な手順



### 3 指導計画作成に当たって留意すべき事項

- (1) 「特別な配慮を必要とするなど課題を抱えた児童への指導」の視点（解P62） **【単元例5】**
  - ・ 個々の児童の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫する。
  - ・ 生活科の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容や学習活動の変更、代替を安易に行うことがないよう留意するとともに、児童の学習負担や心理面にも配慮する。
  - ・ 困難さを補う視点だけでなく、得意なことを生かす視点から自己肯定感の醸成につなげる。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点（解P50） **【単元例1・2・3】**
  - ・ 単元（題材）など内容や時間のまとまりの中で授業改善を進める。
  - ・ 「見方・考え方」を習得・活用・探究という学びの過程の中で生かすことを通じて、より質の高い深い学びにつなげる。
  - ・ 単に思いや願いを実現する体験活動を充実させるだけでなく、表現活動を工夫し、体験活動と表現活動とが豊かに行き来する相互作用を重視するなど、気づきの質を高めることを意識する。
- (3) 「教科等横断的」な視点（解P55） **【指導計画例1・2、単元例4・5】**
  - ・ 幼児期における遊びを通じた総合的な学びを生かし、具体的な活動を通して感性を豊かに働かせるとともに、身近な出来事から気づきを得て考えるなど、中学年以降の学習の素地を形成できるようにする。
  - ・ 他教科等との合科的・関連的な指導を行ったり、低学年の児童の生活とつながる学習活動を取り入れたりして、教科等横断的な視点で作成する。
  - ・ 幼児期に育まれた資質・能力を発揮するとともに、第3学年以降の社会科や理科などの系統的な学習や、各教科等の「見方・考え方」を生かして探究的に学ぶ総合的な学習の時間に発展的につながっていくことを意識する。
  - ・ 幼稚園教育要領等に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて教育課程をつなぐようにする。
  - ・ 幼児期の学びと育ちに対する理解を前提として、児童が安心して小学校生活に慣れ、自らの力を発揮しながら主体的な学習者として育っていけるようにする。
  - ・ 幼児期の教育と小学校教育を円滑に接続するスタートカリキュラムを編成する。
- (4) 「社会に開かれた教育課程」の視点（解P51） **【単元例2】**
  - ・ 実際に地域の人と話をしたり、地域の自然に触れたりするなど自分と地域の人々、社会との関わりが具体的に把握できるような学習活動の充実を図る。
  - ・ 内容(8)「生活や出来事の伝え合い」と他の内容との関連を図った単元を構成するなど、それぞれの内容が補い合い支え合って成果をあげられる学習過程の工夫をする。
  - ・ 校外活動の際は、十分な活動時間や児童が安心して活動できる空間の確保に努めるとともに、交通や活動場所、自然災害に対する安全や見知らぬ人への対応等について配慮する。
- (5) 「道徳教育の充実」の視点（解P63） **【単元例4】**
  - ・ 生活科で扱った内容や教材の中で適切なものを道徳科に活用したり、道徳科で取り上げたことに関係のある内容や教材を生活科で扱ったりする場合には、道徳科における指導の成果を生かすように工夫する。
  - ・ 道徳教育の全体計画との関連、指導の内容及び時期等に配慮し、両者が相互に効果を高め合うようにする。
- (6) 「2学年間を見通した学習活動」の視点（解P52） **【指導計画例2】**
  - ・ 児童の発達段階や特性に適合しているかを吟味した上で単元を構成し、2学年間を見通して効果的に配置する。また、単元相互の関係を意識し配列する。
  - ・ 内容(7)「動植物の飼育・栽培」については、2年間にわたって取り扱うものとし、動物や植物への関わり方が深まるよう継続的な飼育、栽培を行うようにする。

## 第2 指導計画作成のための資料

### 1 内容構成の要点

階層	内容	学習対象・学習活動等	思考力、判断力、表現力の基礎	知識及び技能の基礎	学びに向かう力、人間性等	○ねらい ・単元構成上の配慮事項
学校、家庭及び地域の生活に関する内容	(1) 学校と生活	■ 学校生活に関わる活動を行う	・学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考える	・学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かる	・楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたり、安全に登下校をしたりしようにする	○ 学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりできるようにする。 ・ 学校の施設や人々と関わる活動を行う際には、学校の公共性に目を向けるよう配慮する。その際、適切な指導として児童に教え込んでいくのではなく、具体的な活動の中で学校生活に必要な習慣や技能等を学べるようにする。 ・ 安全については、自然災害、交通災害、人的災害の三つの災害に対する安全確保に配慮する。 ・ 学校での自分の生活を豊かに広げていくという視点に立って、児童が常に学校での自分の生活をよりよくしていくようとする意識をもた続けられるよう工夫する。 ・ 幼少期の教育から小学校教育への円滑な接続を図る観点から、入学当初においては、生活科を中心とした合科的・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定を行うなどのスタートプログラムとして単元を構成し、カリキュラムをデザインする。
	(2) 家庭と生活	■ 家庭生活に関わる活動を行う	・家庭における家族のことや自分でできることなどについて考える	・家庭での生活は互いに支え合っていることが分かる	・自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする	○ 家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができ、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりできるようにする。 ・ 児童によって家族構成や家庭生活の状況が異なることから、各家庭や児童のプライバシーを尊重し、配慮する。 ・ 家庭での実践が難しい場合は、実践の場を学校で求めるなどの工夫を行う。 ・ 家庭生活は児童の生活の中心であることから、他の内容との関連を図った活動を取り入れるよう工夫する。
	(3) 地域と生活	■ 地域に関わる活動を行う	・地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考える	・自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かる	・それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする	○ 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりできるようにする。 ・ 地域との連携を進めるにあたり、新たな協力者を探る際は、以前からのつながりを大切に、地域が常に変化していることを踏まえた上で、学習のねらいを丁寧に説明し、児童が主体的に活動できるように、共通理解を図る。
	(4) 公共物や公共施設の利用	■ 公共物や公共施設を利用する活動を行う	・それらのよさを感じたり働きたりする	・身の回りにはみんなが使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなど分かる	・それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用しようとする	○ 公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きたりすることができ、身の回りにはみんなが使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなど分かるとともに、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用できるようにする。 ・ 内容1や3などと組み合わせると単元を構成する際は、指導の効果が高まるように配慮する。 ・ 社会生活の基本となるルールやマナーを身に付けられるようにするには、単にそれだけを取り上げて指導するのではなく、他教科等や他単元と関連させるなど、学習の必要感のある機会と場をつくり、児童の思いや願いを実現する過程において、必要に応じて適切に指導していく。また、児童自身の中に、公共の意識を支えられた正しい態度が育つように配慮する。

<p>身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、これらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることや、それらを取り入れ自分の生活を楽しくできる</p>	<p>・それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする</p>	<p>・自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることや成長のことに気付く</p>	<p>・それらの違いや特徴を見付ける</p>	<p>■ 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を行う</p>	<p>○ 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、これらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることや、それらを取り入れ自分の生活を楽しくできる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の内容との関連を図り、年間を通して継続的に扱う。特に、内容3(6)(7)(8)とも適宜関連させて、創意工夫のある指導計画を作成する。</li> </ul>
<p>■ 身近な自然を利用したり、身近にある物を使った遊びを行う</p>	<p>・みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする</p>	<p>・その面白さや自然の不思議さに気付く</p>	<p>・遊びや遊びの使う物を工夫してつくる</p>	<p>■ 身近な自然を利用したり、身近にある物を使った遊びを行う</p>	<p>○ 身近な自然を利用したり、身近にあるものを使ったりするなどで遊ぶ活動を通して、遊びや遊びの使う物を工夫してつくること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見付ける」「比べる」「たどる」「試す」「見通す」「工夫する」などの学習活動を大切にす。</li> <li>・児童が遊びや遊びの使うものを工夫してつくることを通して、それらを実感するよう単元を構成したり学習環境を整えたりする。</li> <li>・一人一人の思いや願いを生かした多様な遊びを行い、それを確かにしていく表現活動を行う。</li> </ul>
<p>(7) 動物の飼育・栽培</p>	<p>・生き物への親しみをもち、大切にしようとする</p>	<p>・それらは生命をもっていることや成長していることに気付く</p>	<p>・それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもつて働きかける</p>	<p>■ 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を行う</p>	<p>○ 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもつて働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にできるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育と栽培のどちらから一方を行うのではなく、2学年間の見通しをもちながら両方を確実にこ行う。</li> <li>・どのような動物を飼育し、植物を栽培するかについては、各学校が地域や児童の美意識に応じて適切なものを取り上げ、動物や植物との出会いを工夫する。また、地域の自然環境や生態系の破壊につながらないように、外来生物等の取扱いには十分配慮する。</li> <li>・動物の飼育に当たっては、管理や繁殖、施設や環境などについて配慮する。その際、専門的な知識をもった地域の専門家や獣医師などの多くの支援者と連携して、よりよい体験を与える環境を整える。</li> <li>・感染症などの病気の予防や児童のアレルギーなどについても、十分な対応を考える。</li> </ul>
<p>(8) 生活や出来事の伝え合い</p>	<p>・進んで触れ合い交流しようとする</p>	<p>・身近な人々に関わることや楽しさや楽しさが分かる</p>	<p>・相手のことを想像したり伝えたことや伝え方を選んだりする</p>	<p>■ 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行う</p>	<p>○ 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この内容は、他の全ての内容との関連を図り、単元を構成していく。その際は、伝えたいという強い思いや願いを児童が心に抱くよう、活動や体験を充実させる。</li> </ul>
<p>(9) 自分の成長</p>	<p>・これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもち、これからの成長への願いをもち、意欲的に生活しようとする</p>	<p>・自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割ができたことなどが分かる</p>	<p>・自分のことや支えてくれた人々について考える</p>	<p>■ 自分自身の生活や成長を振り返る活動を行う</p>	<p>○ 自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割ができたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの時点から自分の成長を振り返り実感するかは、児童によって異なる。大切なのは、自分の成長を実感できることであって、一律に過去から振り返ることではない。</li> <li>・自分の成長への気付きは、この内容だけに限らず、生活科の全ての内容の中で促していくことができる。各内容との関連を意識し、年間を見通した計画的な学習活動を構想することが必要である。</li> <li>・プライバシーの保護に留意し、家庭の事情、特に生育歴や家族構成などに十分配慮する。</li> </ul>
<p>身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容</p>					<p>自分自身の生活や成長に関する内容</p>

2 年間指導計画

指導計画例 1 【幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るよう配慮した例】（第1学年 第1学期までの例）

【指導計画作成上のポイント】

○幼稚園教育要領等に示された「幼児期の終わりに育ててほしい姿」は、児童期の初期に目指す姿とも重なるものであるため、具体的な児童の姿を踏まえ教育課程をつないでいく。

【第1学年】（102時間）

		4月	5月	6月	7月	9月
幼児期の終わりに育ててほしい姿	月					
(1)健康な心と体 (2)自立心 (3)協同性 (4)道徳性・規範意識の芽生え (5)社会生活との関わり (6)思考力の芽生え (7)自然との関わり 生命尊重 (8)数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚 (9)言葉による伝え合い (10)豊かな感性と表現	単元名 (時数) ・主な活動 〔内容・ <b>幼</b> 幼 児期の終わりに育ててほしい姿〕	みんななかよし⑥ (スタートカリキュラム) ・ともだちとがっこうをたんけんしよう・あそぼう ・ゆうぐで あそぼう 〔内容①〕 <b>幼</b> ①②	がっこうだいすき ⑨ 〔内容①・ <b>幼</b> ③④⑧〕	しぜんとなかよし その1 ⑨ ・みんなのこうえんであそぼう 〔内容⑤⑥・ <b>幼</b> ③⑤⑥⑩〕		
	幼児期の終わりに育ててほしい姿を踏まえた単元構成の配慮事項	みんななかよし(スタートカリキュラム) <b>幼</b> ①② ○幼児期の教育と小学校教育を円滑に接続するため、スタートカリキュラムを編成する。その際、低学年の全ての教科等と生活科との関連を図り、指導の効果を高めるようにする。 ○幼児期に育まれたことを生かし自分でできることは自分でしようと積極的に取り組みることができよう配慮する。 ○幼児期に大切に生きてきた生活のリズムを生かし、他の児童と一緒に楽しく過ごす時間を設定したり、自分のやってみたいことを設定したりする。	大きくなってね <b>幼</b> ③④⑧ ○児童の思いや願いを生かした学習活動を構成し、学ぶことへの意欲を高めたいことができるようにする。 ○グループで探検したり、表現したりする活動を設定し、友達と協力して活動を行うことができるようにする。 ○幼児期の経験を土台にして、相手の気持ちを考えたり、その場に合った振る舞いを振り返ったりすることができるようになる。 ○探検をしながら、身近な文字や数字に関心をもち、日常生活に生かすことができるようにする。	大きくなってね <b>幼</b> ③⑤⑥⑩ ○幼稚園等での飼育・栽培経験を生かしながら、活動を進めていくことができるようにする。 ○毎日の学校生活の様々な場面に飼育・栽培活動を位置付け、生活科を中心に一日の学校生活を設計すること で生活科の活動を日々の学校生活に取り入れていく。		
	※幼稚園教育要領等参照 ※右記の単元における姿は、主にその単元で発揮される姿を表している。					

指導計画例2【他教科等との関連に重点を置き、指導の効果を高めるように配慮した例】

- 生活科では、他教科等との合科的・関連的な指導を行ったり、低学年の児童の生活とつながる学習活動を取り入れたりして、教科等横断的な視点で教育課程の編成、実施上の工夫を行うことで、一層の学習の効果が期待できる。
- 生活科と他教科等において、学びがどのように関連付いているかを意識し、児童の思いや願いを生かした学習活動を展開するために、2学年間の全ての単元を配列し俯瞰することができる単元配列表の作成が効果的である。

【第1学年】(102時間)

	道徳科・特別活動等	単元名(時数)・主な活動・内容・視点	他教科
4	<b>学級活動(2)</b> <b>「うれしい1年生」</b> ・先生の紹介を聞いたり、友達と握手したりすることで学校生活になれる。	<b>はじめましてよろしくね(6)</b> ↳ <b>スタートカリキュラム</b> [1]ア、イ ・好きな歌を歌おう ・お話読んでね(読み聞かせ) ・リズム遊び・手遊び歌をしよう	<b>国語「あかるいこえて」「どうぞよろしく」</b> ・場面に合わせてあいさつをする。  <b>体育「遊具遊び」</b> ・約束を守り正しく遊具を使う。
5	<b>児童会活動</b> <b>「1年生を迎える会」</b> ・上級生に入学を祝ってもらう。	<b>がっこうだいすき(9)</b> [1]ア、イ ・友達と学校を探検しよう ・学校にいる人たちとなかよしくなるよう ・探検で見つけたことをお話ししよう	<b>図工「すきなもののえをかこう」</b> ↳ 学校探検で見つけたお気に入りの絵をかく。
6	<b>道徳「あかるいあいさつ」</b> ・気持ちのいい言葉遣いや所作で身近な人に明るく接しようとする。 [礼儀]	<b>おおきくそだってね(15)</b> [7]キ、サ ・育てる植物を自分で決めよう ・願いを込めて種をまこう ・毎日お世話をし、発見したことをかこう ・花で色水遊びや押し花遊びをしよう ・種とりをしよう	<b>国語「えにききをかこう」「はなしたいなききたいな」</b> ・自分の花の絵日記等をかく。  <b>算数「おおきかず」</b> ・咲いた花の数や種の数を数える。 <b>「どちらがながい」</b> ・どれくらい大きくなったか長さを比べる。
7	<b>学校行事</b> <b>「交通安全教室」</b> ・通学路の様子やその安全を守ってくれる人の話を聞いて、安全な登下校ができるようにする。	<b>なつともだち(10)</b> [5](6)オ、キ、ク、ケ ・公園で遊ぼう ・草花や虫を探そう ・水で遊ぼう	<b>国語「としよしのつかいかた」</b> ・虫や動物の育て方の本を借りて調べる。  <b>図工「おちばでだいへんし〜ん」</b> ・公園で集めた落ち葉や枝を使って秋の作品を作り、楽しむ。
9	<b>道徳「げんきでねあげはくん」</b> ・身近な自然に親しみ、その触れ合いを通して豊かな心を形成し、優しい心で大切に接しようとする。 [自然愛護]	<b>いきものだいすき(12)</b> [7]キ、コ、サ ・校庭や公園で虫を探そう ・虫のお世話をし、大切に飼おう ・みんなで動物を飼おう	<b>音楽「リズムあそび」「季節の歌」</b> ・生活科で作ったマラカスを使って演奏し、秋の歌を歌う。
10	<b>学級活動(1)</b> <b>「あきのパーティーをかんがえよう」</b> ・生活科の秋のパーティーの内容を考える。	<b>あきともだち(10)</b> [5](6)オ、キ、ク、ケ ・秋の探検をしよう ・公園に秋を探しに行こう ・葉っぱや実で遊ぼう ・見つけた秋を紹介しよう ・秋のパーティーを開こう ・どんな花を育てたいか調べよう ・もう一度、自分の花を育てよう	<b>体育「はっぱになりきっておどろう」</b> ・風にふかれて木の葉がまう様子等を体全体で表現する。
11	<b>道徳「サバンナの子ども」</b> ・自分も家族の一員であることに気付き、家族のために手伝おうとする態度を育てる。 [家族愛、家族生活の充実]	<b>にこにこだいさくせん(15)</b> [2]イ、カ、ク、ケ ・家族がにこにこするのはどんなときか、考えたり、インタビューしたりしよう ・にこにこ大作戦を計画・実行しよう	<b>国語「ずうっと、ずっと、大すきだよ」</b> ・ぼくとエルフの心の交流を読む。  <b>国語「おもい出しかこう」「いいこといっぱい1年生」</b> ・1年間の思い出を読む人が分かるように、順序を考えて書く。
12	<b>学級活動(2)</b> <b>「もうすぐ2年生」</b> ・1年間の振り返り、頑張ったことやできたようになったことを発表し合うとともに、2年生でがんばりたいことをもてるようにする。	<b>ふゆともだち(10)</b> [5](6)オ、キ、ク、ケ ・冬の公園に行こう ・外で遊ぼう ・雪や氷で遊ぼう	<b>図工「えがおつうしんにこにこニュース」</b> ・1年生の楽しかった思い出の絵等をかく。  <b>算数「すごろくづくり」</b> ・1年生の出来事や思い出のすごろくを作ってみんなで遊ぶ。
1		<b>もうすぐみんな2ねんせい(15)</b> [6](9)ク、ケ、コ ・1年間にできるようになったことを思い出そう ・新しい1年生に学校のことを伝える会の準備をしよう	

【第2学年】(105時間)

	道徳科・特別活動等	単元名(時数)・主な活動・内容・視点	他教科
4	<b>学級活動(2)</b> <b>「2年生になって」</b> ・進級を喜び、2年生としてのめあてをもつ。	<b>ぼくもわたしも2年生(8)</b> ①ア、イ、エ、ケ、コ ・2年生になってがんばりたいことや挑戦したいことを伝え合おう ・1年生をむかえる計画を立てよう	<b>国語</b> <b>「春がいっぱい」</b> ・学校の中で春を感じるものをノートに書き出す。 <b>「今週のニュース」</b> ・友だちに知らせたいことを紙に書いてはる。
5	<b>道徳「わたしの学校」</b> ・学校のすてきをみんなで考えて1年生に話す。 よりよい学校生活の充実	<b>ぐんぐんそだてわたしのやさい(14)</b> ⑦キ、サ ・育てる野菜を決めよう ・野菜の世話を続けよう ・毎日お世話をし、発見したことをかこう	<b>国語「かんさつ名人になろう」</b> ・観察して気が付いたことをくわしく書く。
6	<b>学級活動(1)</b> <b>「1年生となかよくあそぶ会をひらこう」</b> ・1年生が学校を好きになってくれるように、一緒に遊ぶ会を考える。		<b>算数「わかりやすくあらわそう」</b> ・クラスみんなが育てたい野菜をグラフと表にして表す。
7	<b>情報教育との関連</b> <b>「タブレットのつかい方をれんしゅうしよう」</b> ・町探検ですてき・びっくりを写真に撮れるようにタブレットの使い方を練習する。	<b>どきどきまちたんけん(12)</b> ③④イ、ウ、エ、カ ・クラス全員で町を探検し、気付いたことを伝え合おう ・2回目の町探検をしよう ・町のすてき・びっくりを探そう ・町探検すてきマップを作ろう	<b>算数「長さをはかろう」</b> ・育てている野菜の背の高さを定規で測る。
9	<b>道徳「生きているってどんなこと？」</b> ・育てている野菜のことや、生き物との触れ合いを通し、生きていると感じるときのことを話し合う。 生命の尊さ	<b>生きものとなかよし(10)</b> ⑦カ、キ、コ ・公園に生きものを探しに行こう ・生きものと遊んだり、すみかを作ったりしよう ・虫のお世話をし、大切に育てよう	<b>体育「やさいを表現しよう」</b> ・育てている野菜になりきって、大きく育つ様子を表現する。
10	<b>学級活動(2)</b> <b>「野さいのひみつ」</b> ・栄養教諭の先生から、野菜の栄養の話聞く。	<b>できたよできたわたしのやさい(6)</b> ⑦キ、サ ・野菜の収穫をしよう。 ・とれた野菜をみんなで食べよう ・学級園の手入れをしよう	<b>算数「時計を生活に生かそう」</b> ・町探検の出発時刻と、集合時刻を決める。 ・町探検の計画で、時間を決めてコースを作る。
11	<b>道徳「ながいながいつうがくろ」</b> ・わたしたちの町のすきなところを発表し合う。 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	<b>もっとどきどきまちたんけん(12)</b> ⑧イ、ウ、カ ・町探検の計画を立てよう ・町の人となかよしになろう ・町のすてきを地図や絵本、紙芝居などにまとめよう ・家の人や、町の人たちに発表しよう	<b>国語「見たこと、かんじたこと」</b> ・見たこと感じたことを詩に書く。
12	<b>情報教育との関連</b> <b>「町の人にわたすめいしを作ろう」</b> ・町探検で町の人に渡す名刺をパソコンを使って作る。	<b>うごくよわたしのおもちゃ(10)</b> ⑥カ、ケ ・動くおもちゃを作ろう ・もっと工夫しよう ・みんなで遊ぼう	<b>図工「どきどきカードを作ろう」</b> ・町探検でお世話になった人にお礼のカードを作る。
1	<b>道徳「さかあがりできた」</b> ・できなかったことができたようになった時の気持ちを思い出す。 希望と勇気、努力と強い意志	<b>あしたへジャンプ! (27)</b> ⑨カ、コ ・1年間にできるようになったことを思い出そう ・新しい1年生に、学校のことを伝える会を開こう ・招待したことを振り返ろう ・3年生になったら挑戦したいことをみんなで話し合おう	<b>国語「おもちゃを作ろう」</b> <b>「おもちゃのせつめい書」</b> ・作ったおもちゃのことを説明する文章を書く。 ・おもちゃ大会で友達に説明する。
2	<b>児童会行事</b> <b>「6年生をおくる会」</b> ・お世話になった6年生のためにお礼のカードを作る。		<b>音楽「楽しかった2年生の歌をみんなで作ろう」</b> ・楽しかった2年生の思い出を歌にする。
3			<b>国語「楽しかったよ2年生」</b> ・できごとを思い出して、その時のことが伝わるように書く。
			<b>図工「どきどきカードのおくりもの」</b> ・楽しかったこと、うれしかったことのカードを作って家の方にプレゼントする。

※ → は、生活科と教科・特別活動等との関連を示す。 ↔ は、一部を合科的に扱う。

### 3 単元計画

#### 単元例1【主体的な学びの視点から指導を工夫した例】

##### 【指導上のポイント】

- 児童の思いや願いを実現する体験活動の中で、結果を予想したり先を見通したりしながら、多様な学習活動へと発展していくようにする。
- 学習活動を振り返ることで、自分自身の成長に気づき、更なる意欲を高めることが、学びに向かう力を育成することにもつながる。

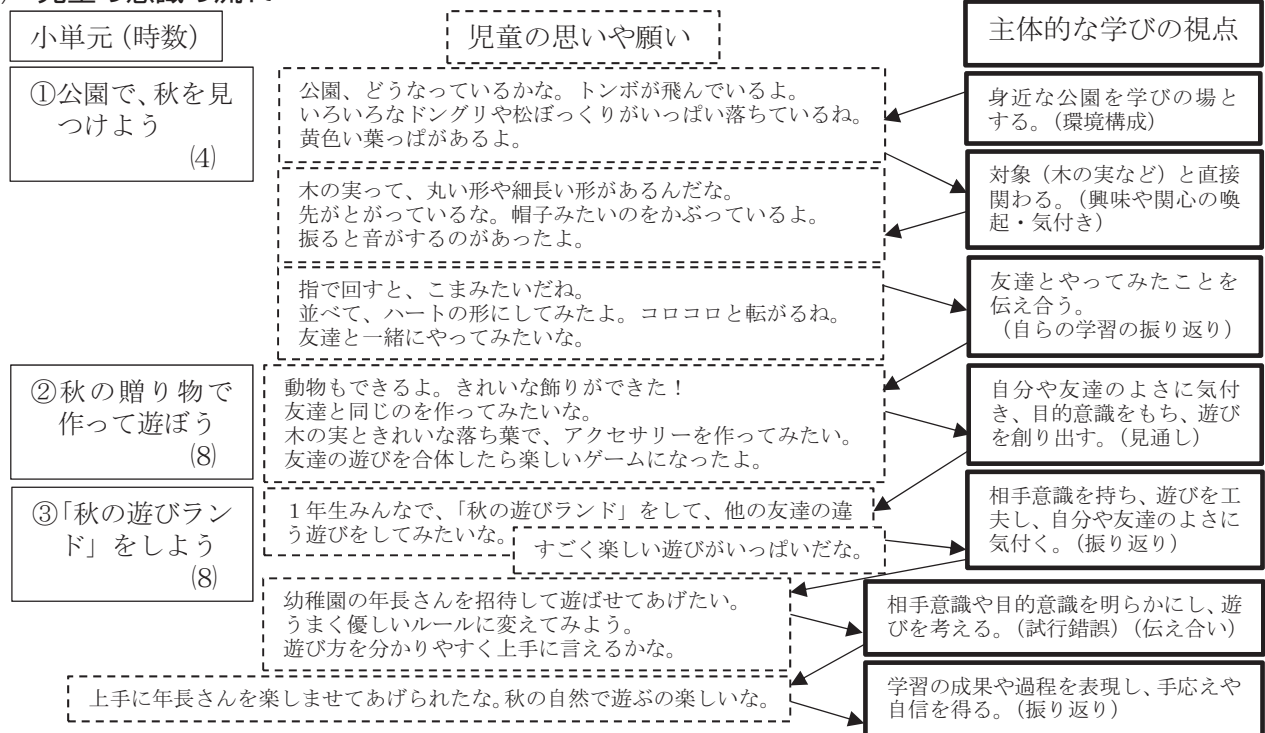
- (1) 単元名 あきとあそぼう (20時間) 第1学年  
 (2) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(5)「季節の変化と生活」や(6)「自然や物を使った遊び」を受けて設定したものである。ここでは、身近な自然の様子や季節の変化に気づき、それらの違いや特徴を見付けたり、自らの生活に取り入れ生かしたりしていくようにする。そして、秋の自然物や身近にある物を使った遊びを考え、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くようにする。また、一人一人の思いや願いを生かした多様な遊びを行い、友達と一緒に遊びを考えたり、幼児を招いて更に遊びを工夫したりして、みんなで遊びを創り出すようにする。

(3) 単元の目標

身近な自然・物を利用し、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり出すことを通して、身近な自然の様子や四季の変化に気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

(4) 児童の意識の流れ



(5) 指導計画 (ここでは、小単元②「秋の贈り物で作って遊ぼう」の指導計画のみ掲載)

小単元名及びねらい	主な活動 (時数)	主体的な学びにつなげるための配慮【3(2)】
②秋の贈り物で作って遊ぼう (8)  ○秋の自然物で、遊びに使う物を作ってみんなで楽しむ。	○木の実や落ち葉を使って、遊びやおもちゃをつくる。(2) ○グループで、遊びに使う物を考えて作ったり、遊びの約束やルールを工夫したりして楽しむ。(3) ○他のグループの遊びに興味をもったり、自分たちの遊びを改良したりする。(3)	・多様な活動ができるような場を設定する。 ・友達と一緒に作った物で遊ぶことを通して、遊びの面白さに気付かせる。 ・グループで見通しを立てながら、遊びに使う物を作ったりルールを考えたりするなど、試行錯誤して工夫するようにさせる。 ・他のグループの遊びを体験してよさを伝えたり、自分たちの遊びを改良したりするようにさせる。 ・活動を振り返り、友達のよさや自分の成長に気づき、次の活動への意欲につなげさせる。

※「1単位時間の指導計画」の作成について

単元の指導計画を基に、児童一人一人の思いや願いに応じた多様な学習活動を位置づけ、活動や体験したことを言葉などによって振り返り表現する機会を設定したり、気づきを伝え合い交流する場を工夫したりする。また、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動の設定等、気づきの質を高める授業展開となるようにする。



単元例2【対話的な学びの視点から指導を工夫した例】

【指導上のポイント】

○児童一人一人の発見が共有され、新たな気付きが生まれたり関係が明らかになったりするよう  
な、伝え合い交流する場を設ける。また、地域の人々とインタビューや交流する活動を取り入  
れ、双方向の活動が行われるようにする。さらに、対話的な学びを可視化するために、「考え  
るための技法（思考ツール）」の活用も効果的である。

(1) 単元名 はっけん！まちのキラリたんけんたい②（20時間） 第2学年

(2) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(3)「地域と生活」と(8)「生活や出来事の伝え合い」を受けて  
設定したものである。～以下略～

(3) 単元の目標

地域の場所やそこで生活する人や働く人と関わる活動を通して、地域の場所や多様な人々と関  
わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んでふれあい交流しようとする。

(4) 児童の意識の流れ（略）

(5) 指導計画

小単元名・ねらい	主な活動（時数）	対話的な学びにつなげるための配慮 【3(2)】
①まちのキラリをみつけよう(7) ○地域の場所を探検したり人と関わったりすることを通してよさやはたらしきを見付ける。	○自分が見つけた近所のキラリを紹介しあう。(1) ○グループごとに、自分たちの行きたいところの探検計画を立てる。(2) ○グループごとに、めあてをもって自分たちの探検したいところに行く。(3) ○探検して見つけたことを振り返る。(1)	・1学期の探検で見つけたことを伝え合いやすくするために、ペアやグループでの話し合い活動にする。 ・1学期の探検を思い出しながら探検してみたいところをイメージマップで具体化する。 <b>思考ツール（ウェビング）</b> ・担任は、事前に探検先と打ち合わせを行い、対話的な交流が図れるよう配慮する。 ・探検先でインタビューや体験的な活動が行われるようにする。【3(4)】 ・グループの中で話し合いを行い、見つけたことを確認する。 ・地図を使い、見つけたことを付箋に書いて貼ることで、可視化する。
②もう一度町探検に行こう(7) ○探検して見つけたことや体験したことを元に、2回目の探検を行い、さらに詳しく調べ、自分たちの気付きを深める。	○1回目の探検の報告会を開いて、自分たちの気付いたことを交流し、振り返る。(1) ○計画を立てる(2) ○具体的にやってみたいことや聞いてみたいことを明らかにして2回目の探検に行く。(3) ○探検して見つけたことを振り返る。(1)	・見つけてきた人・物・ことについて付箋を使って分類する。 <b>思考ツール（KJ法）</b> ・2回目の探検でやってみたいことや聞いてみたいことを出し合う。 ・児童が考えたことをもとに、インタビューや体験的な活動が行われるようにする。【3(4)】 ・地図や具体物を使って、見つけたことを伝え合い、気付きの交流を図る。
③まちのキラリ発表会をしよう(6) ○これまでの探検を通じて発見したことをもとに、地域の人や保護者に向けて発表会を通して町のよさに気付くようにする。	○報告の資料作りや発表準備を行う。(2) ○探検でお世話になった人や地域の人を招いて「まちのキラリ報告会」を行う。(2) ○探検活動を振り返り、まちのよさについて考える。(2)	・見つけてきたことや体験したことの中から伝えたいことを3つ選んで発表の材料にする。 <b>思考ツール（ランキング）</b> ・招待した人々から感想をもらうなどのやりとりを行うことで、対話が図れるようにする。【3(4)】 ・お世話になった方にお礼の手紙を書くなどして、対話的な学びが図れるようにする。

### 単元例3【深い学びの視点から指導を工夫した例】

#### 【指導上のポイント】

○動くおもちゃを試行錯誤しながら繰り返し作る中で、見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行い、気付いたことを伝え合い交流したり、振り返り表現したりすることで、深い学びを実現するようにする。

(1) 単元名 うごく うごく わたしのおもちゃ (13時間) 第2学年

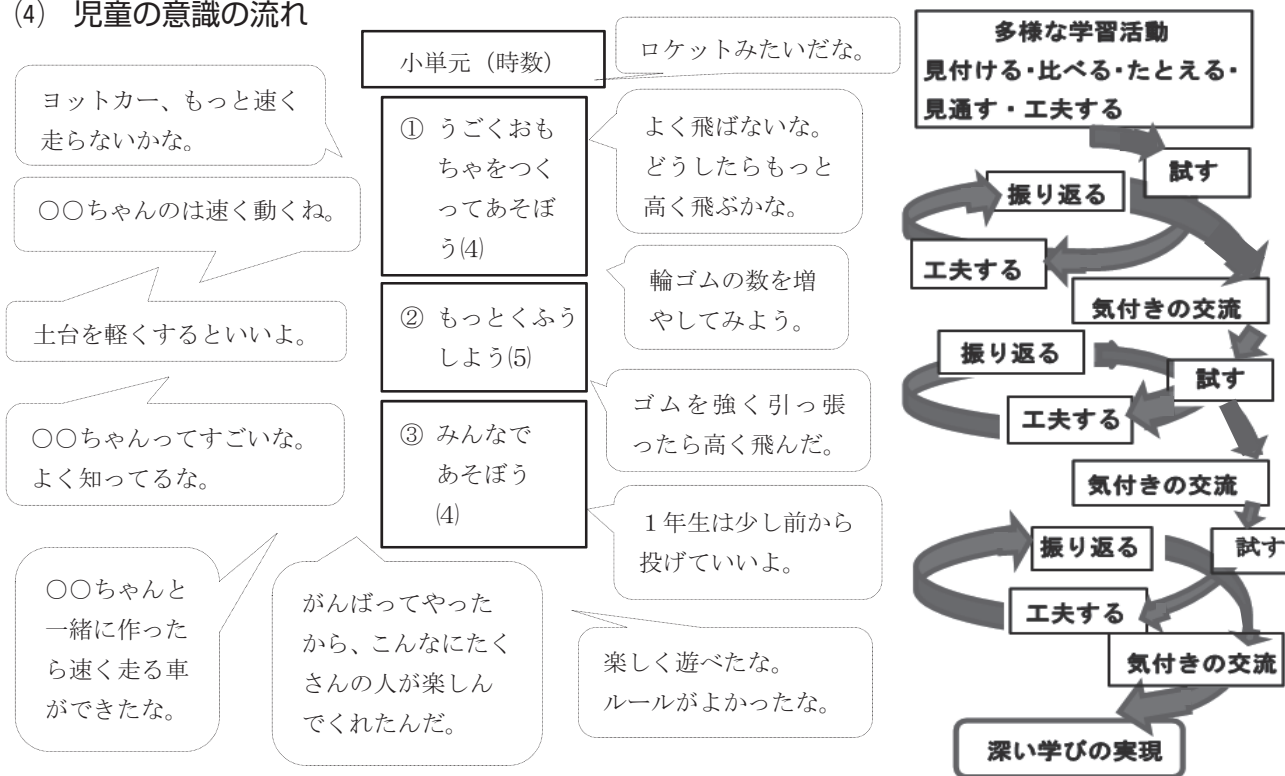
(2) 単元について

本単元は学習指導要領の内容(6)「自然や物を使った遊び」を受けて設定したものである。身近な材料を使い、自分で考えたおもちゃを作り、遊び、工夫する活動を繰り返す中で、その面白さや不思議さに気付くようにする。試行錯誤を繰り返し、条件を変えて試してみる過程で、動くおもちゃの作り方への気付きが質的に高まっていくようにするとともに、第3学年以上の学習を支える科学的な認識の基礎を培うようにする。また、友達と関わりながら遊んだり、活動を振り返ったりする中で、友達のよさや自分のよさを考えるようにする。

(3) 単元の目標

身近にある物を使って動くおもちゃを作り遊ぶ活動を通して、おもちゃ作りや遊びを工夫することができ、動くおもちゃの面白さや自然の不思議さに気付き、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

(4) 児童の意識の流れ



(5) 指導計画 (ここでは小単元③「みんなであそぼう」の指導計画のみ掲載)

小単元名・ねらい	主な活動 (時数)	深い学びにつなげるための配慮【3(2)】
③ みんなであそぼう(4) ○遊びのルールを工夫するとみんなで楽しく遊べること、活動を通して友達や自分のよさに気付くようにする。	○作ったおもちゃを使ったおもちゃ大会を開く計画を立てる。(1) ○おもちゃ大会を開き、遊び方を教えたり、一緒に遊んだりする。(2) ○おもちゃ作りをしたり、おもちゃ大会を開いたりして気付いたことを自分なりの方法で表現し、伝え合う。(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手(1年生)を意識し、工夫した遊びのルールや図を使った遊び方の説明などを価値付け、クラス全体に広めるようにさせる。</li> <li>・「いいね。」「そうだね。」「なるほどね。」などと児童の気付きを認め、共通の視点に気付かせる。</li> <li>・できるようになったこと、友達のよさ、自分のよさに着目して振り返るようにさせる。</li> </ul>

## 単元例4【各教科等との関わりから指導を工夫した例】

### 【指導上のポイント】

- 他教科との関連では、生活科の学習成果を他教科等の学習に生かしたり、他教科等の学習成果を生活科の学習に生かしたりする。また、教科の目標や内容の一部について、これを合科的に扱うことによって指導の効果を高めるようにする。
- 第2学年後半においては、第3学年以降の社会科や理科、総合的な学習の時間に発展的につながっていくよう意識することも大切である。

### 1 単元名 わたしたちの やさいばたけ (25時間) 第2学年

### 2 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(7)「動植物の飼育・栽培」を受けて設定したものである。ここでは、児童が自らの手で継続的に植物を育てることを通して、身近な植物に興味・関心をもち、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物を大切にすることができるようにすることを目指している。

### 3 単元の目標

野菜の栽培を通して、それらの育つ場所や成長の様子に興味・関心をもち、自然の不思議さや面白さ、生命をもっていることなどに気付き、生き物への親しみをもち、大切に育てることができるようにする。

### 4 児童の意識の流れ (略)

### 5 指導計画

小単元・主な活動 (時数)	合科・関連	他教科等での学び【3(3)】
○野菜をうえよう(4) ・どんな野菜が育てられるか調べ、苗を植える。	←	〈国語〉「観察名人」の学習を生かして、観察して気付いたことを詳しく記録文にして書く。
○野菜の世話をしよう(4) ・野菜の日々の成長を絵や文章、タブレットに記録し、成長の変化等を他の野菜と比較する。	← →	〈算数〉「長さ」の学習を生かして長さの単位を活用しながら観察する。 〈道徳〉生き物とのふれ合いを通して、生命の素晴らしさを話し合う。【3(5)】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生命の尊さ</span>
○野菜の収穫をしよう(2) ・実った夏野菜を楽しく収穫する。	↔	〈図工〉よく観察したことを生かして「野菜の絵」を描く。
○野菜について紹介しよう(4) ・野菜の成長を振り返りながら自己の成長も確認し、自分が育てている野菜を紹介する。	↔	〈道徳〉収穫した野菜を料理して収穫の喜びを家族と分かち合う。【3(5)】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">家族愛、家庭生活の充実</span>
○夏野菜ありがとう(2) ・夏野菜栽培について振り返り、夏野菜の特徴について考える。	→	〈音楽〉音遊びを通して、野菜の成長や収穫の喜びを曲作りの発想に生かす。
○秋からの野菜を育てよう(5) ・秋から育てられる野菜を知り、種や苗を植え、野菜の様子を観察しながら、必要な世話を継続する。	→	〈体育〉野菜の成長を観察した経験から野菜そのものになりきって、全身で表現する。
○野菜パーティーをしよう(4) ・苗植えから収穫までの野菜について紹介する会を開き、自分たちが育てた野菜について説明する。	↔ ↔	〈学級活動〉野菜パーティーをどのような会にするか、役割分担などについて話し合う。 〈学校行事〉エコフェスティバルで、自分たちの育てた野菜のことについて発表する。

- ※ → 生活科の学習成果を他教科等の学習に生かす。
- ※ ← 他教科等の学習成果を生活科の学習に生かす。
- ※ ↔ 教科の目標や内容の一部について合科的に扱う。

単元例5【入学当初における生活科を中心とした合科的な指導に配慮した事例】

【指導上のポイント】

- 幼児期の教育と小学校教育を円滑に接続するために、スタートカリキュラムを編成し、児童が安心感をもち、主体的に自己を発揮できるようにする。
- 生活科を中心とした合科的・関連的な指導を行ったり、弾力的な時間割の設定を行ったりするなどの工夫をして、ゆったりとした時間の流れの中で少しずつ小学校での学習に慣れることができるようにする。

1 小単元名 なかよしいっぱい（6時間） 第1学年 ※単元計画は指導計画例1を参照

2 小単元について

本小単元は、学習指導要領の内容(1)「学校と生活」を受けて設定したものである。4月当初の小単元として、幼児期の学びと育ちを土台とし、児童が興味・関心をもったことを個々のペースで追究していけるような、ゆったりとした時間の流れの中で少しずつ小学校での生活に慣れることができるように進めていく。そのために、スタートカリキュラムを編成し、各教科等との合科的・関連的な指導を行ったり、弾力的な時間割を設定したりするようにする。

3 小単元でねらう子供の姿

- ・安心して自己を発揮できる子供
- ・みんなと楽しみながら関わりを広げる子供
- ・思いや願いを広げ、学びに取り組もうとする子供

4 入学当初の生活科を中心とした合科的な指導に配慮した週案例

4月第2週のねらい 【先生や友達と仲良くなる】						
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
朝の活動	【なかよくなろう】 ・手遊びをしよう。 ・歌って踊ろう。	【なかよくなろう】 ・手遊びをしよう。 ・歌って踊ろう。	【なかよくなろう】 ・手遊びをしよう。 ・歌って踊ろう。	【なかよくなろう】 ・手遊びをしよう。 ・歌って踊ろう。	【学級の時間】 ・外で元気に遊ぶ。	◎幼児期に大切にしてきた生活リズムや一日の過ごし方に配慮して、学習活動を設定する。
1	【生活】 「がっこうのなかをあるいてみよう」 ・学校の中を教師と一緒に歩く。	【生活】 「がっこうであそぼう」 ・校庭にある遊具で思い思いに遊ぶ。	【生活】 「いっしょにあそぼう」 ・みんなで砂場遊びをする。	【音楽】 「うたでさんぽ」 ・友達と一緒に楽しく歌う。	【体育】 ・鬼遊びをする。	○業前の活動で、保育園・幼稚園等で行った遊びや歌を取り入れ、学校生活を生き生きと安心して楽しく始められるようにする。
2	【国語】 ・学校の中で見つけたものを話す。	【体育】 ・校庭にある遊具で遊び、使い方を覚える。	【道徳】 「たのしいがっこう」 ・学校のきまりや約束について話す。	【生活】 「1年生を迎える会に参加しよう」 ・2年生が開く1年生を迎える会に参加する。	【生活】 「がっこうめぐりをする」 ・校庭の花や虫などを見付ける。	○自分との関わりを通して総合的に学ぶ子供の発達の特徴を捉え、生活科を中心とした合科的・関連的な指導を設定するようにする。【3(3)】
3	【図工】 「すきなえ なかに」 ・好きなものを描きたいものを自由にかく。	【算数】 「なかまあつめをしよう」 ・図工でかいた絵を仲間ごとに分ける。	【算数】 「なかまあつめをしよう」 ・カードの絵を種類や条件で分けて仲間をつくる。	2年生と一緒に学校の中を探検する。	【国語】 「はる」 ・「はる」を音読する。	○子供の実態や学習活動に応じて、10～15分の短い時間の学習や2時間続きの学習にするなど、弾力的な時間割を設定する。
4	【国語】 「読み聞かせ」 ・教師による読み聞かせを聞く。 ※幼稚園の経験を生かし、気持ちを落ち着けて下校する。	【国語】 「読み聞かせ」 ・教師による読み聞かせを聞く。 ※幼稚園の経験を生かし、気持ちを落ち着けて下校する。	【学活】 「はじめての給食」 ・幼稚園等の経験を話し、給食の準備の仕方を知る。	【算数】 「10までのかず」 【学活】 「たのしい給食」	【国語】 「みつけたものをおはなししよう」 ・学校めぐりの中で見つけたことを友達と伝え合う。	○長時間机に向かって学習するのは難しいというこの時期の子供の発達の特徴を捉え、活動性のある学習活動を行うようにする。【3(1)】
下校	下校 11:30	下校 11:30	下校 13:30	下校 13:30	下校 13:30	○適応指導になることがないよう、保育園・幼稚園等の経験を引き出し、それを基に小学校での生活の仕方を考えていくことができるようにする。